

春の永代経のご案内

長善寺

今年はいつまでも寒く、ようやく春が来たと思ったら、あっという間に駆け抜けていくような気がしています。何だか季節がずれているようです。そんな気候の変化を感じながらも、今年も当山の永代経法要を執り行うことができることを有難いと感じます。

前任職や昨年のお七くなられた方たちの御名前を法名軸に書きながら、やがて名前だけになることの意味を考えざるを得ませんでした。

これは朝日に浮かぶ毘沙門岳です。私たちが西山と言っているように夕日の沈む西方浄土をイメージさせます。逆に朝日が当たると、まるで浄土が浮かび上がるようにきれいに見えます。



思えば真っ先に名前となられたのは阿弥陀様でした。名号となられた阿弥陀様はそういう私たちの記憶のあやふやなこともちやんとわかっておられます。阿弥陀様は「光明名号顕因縁」と、お名号と光明のはたらしきで、私たちをお浄土へ迎えてくださり、またこちらに還ってきて、様々な姿を現して教え導き、救うことができるはたらき与えると誓われました。

今、自分自身の身体の老いを自覚するたびに、そう誓われた仏様に安心しておまかせする心が自然に現れてきます。

先に往かれた方たちとのこの娑婆での出遇いは、そのまま仏様との出遇いでした。親鸞聖人は仏様と出遇えた慶びを生涯語り続けられました。

同じ道を歩ませていただくことを、そして、その道はお浄土に確実に至る道であることを、お浄土で相まみえることを共に慶びたいと思います。 称名

一、日時 四月二十九日（土）

日中 十時 粗食ながら昼食を準備しています。
速夜 一時 お勤め 自坊にて

日中：正信偈念仏・和讃・法話「おまかせ上手」
速夜：大無量寿経・和讃・法話「報謝という生き方」

一、永代経加入のご先祖

様